

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

串良 KISHIRA 怪談話を体験



7月16日、串良公民館で「夏の絵本の祭典」が開催されました。これは、串良地域の読み聞かせグループ「こころのしずく」が夏の暑さを吹き飛ばしてほしいと行ったもので、串良小の児童など約100人が参加。

当日は、絵本の読み聞かせやブラックシアターなどが行われ、夏にちなんだ怪談話に、しばし夏の暑さを忘れていました。

串良 KISHIRA 集団生活を体験



7月7日から10日にかけて、串良公民館で「串良ふるさと学寮」が行われました。

これは、子どもたちが家庭を離れ集団生活を体験することで、自主性や忍耐力などを培うために行われたもので、串良地域内の小学校5年生～中学1年生までの31人が参加。子どもたちは食事や掃除を協力して行うなど、集団生活を体験しました。

鹿屋 KANOYA EM菌で肝属川を浄化



7月5日、鹿屋小学校前の肝属川で、同校4年生約35人がEMだんごを投入しました。

EMだんごは、浄化作用を持つ微生物を泥と混ぜ合わせて団子状に丸めたもので、川の浄化作用を補助するもの。

当日、参加した児童は「きれいになってください」と声をかけながらEMだんごを肝属川に投入して、川の浄化を願いました。

鹿屋 KANOYA 地元の海でカヌー体験



7月9日、古江港近くの海岸で、古江小学校の3～6年生の児童18人が参加し、「海の子カヌー体験教室」が行われました。

この教室は、古江の自然を知り、地元への愛郷心を持ってほしいとの思いから平成12年から続いている教室で、児童はプールで練習してきた成果を海でも十分に発揮し、上手にカヌーを漕いでいました。

鹿屋 KANOYA マダイやヒラメの稚魚を放流



7月14日、古江港沖合で、古江小学校5・6年生の児童9人が、ふ化後3か月のマダイの稚魚の放流に参加しました。

この放流は、水産資源を保護しながら生産の増大を図るなど「豊かな海づくり」を推進するために行われたもの。児童は、漁船に乗り込み「元気良く大きく育ててください」と言葉をかけながらマダイの稚魚27,600尾を放流し、元気に泳いでいく稚魚の姿を見守りました。

また、翌日には、漁業関係者によってヒラメの稚魚3,300尾の放流も行われました。

鹿屋 KANOYA 交通安全への意識を高める



7月16日、高須地区学習センターで「高須・浜田高齢者学級交通安全教室」が行われました。

この教室は、激増している高齢者の交通事故を防止しようと、防犯教室で活躍している市来良史さん（川西町）を講師に招き行われたもの。高須保育園の園児も交通安全の歌や踊りを披露して、参加した約80人は、交通安全への意識を高めました。

鹿屋 KANOYA カブトムシ相撲に大興奮



8月1日、寿北小学校で「わくわくどきどき大作戦・カブトムシ相撲」が行われました。

これは、寿北小おやじの会が幼いときの経験を子どもたちにも体験してほしいと企画したもので寿北小の児童24人が参加。当日は、手作りの土俵や軍配を使ってカブトムシ相撲が行われ、子どもたちは初めてのカブトムシ相撲に大興奮していました。

鹿屋 KANOYA 幼稚園児 アイガモを放鳥



7月13日、有機栽培を実践している鹿屋農業高校の水田で、松下幼稚園の園児38人が参加して、生後約3週間のアイガモのヒナ70羽の放鳥が行われました。園児は、「おいしいお米づくりに協力してね」と優しく話しかけながら水田に放鳥しました。

また、園児にアイガモ農法を理解してもらうため、同校生徒によるパネル寸劇も行われました。

標準記録目指し力泳 ～県総体水泳大会～



7月27日・28日の2日間、中央公園水泳プールで「第59回鹿児島県中学校総合体育大会水泳競技大会」が開催されました。

大会には、県内の各中学校から100校636人が参加し、市内からは、田崎中、鹿屋東中、鹿屋中、第一鹿屋中の4校41人が出場。選手たちは、熱い声援を受けながら、力強い泳ぎで標準記録に挑戦していました。

自己記録更新を目指す ～小学校水泳記録会～



7月23日、中央公園水泳プールで「第18回鹿屋市小学校水泳記録会」が開催されました。

この記録会は、水泳の技能や記録の向上を図りながら豊かな人間性を育むことなどを目的に開催されるもので、市内小学校の5・6年生約650人が参加。

児童は、同級生や保護者の声援を受けながら、自己記録の更新を目指して全力で泳いでいました。

鹿屋 KANOYA 着衣泳法を学ぶ



7月1日、笠野原小学校のプールで、「着衣泳法」の授業が学年ごとに行われました。

これは、着衣のまま水中で活動することの難しさを体験し、命を守る対処法を身に付けるために行われたもの。授業では、服を着た状態での泳ぎ方や、ペットボトルを使った救助指導が行われ、参加した児童は、着衣で泳ぐことの難しさに驚いていました。